

その1

入 札 公 告

平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務について、次のとおり条件付き一般競争入札を行うので、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「自治法令」という。)第167条の6、和歌山県財務規則(昭和63年和歌山県規則第28号)第100条及び和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札(事後審査)実施要領(平成20年制定。以下「要領」という。)第5条の規定に基づき公告する。

平成31年4月18日

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

1 条件付き一般競争入札に付する事項

- (1) 事業年度及び業務番号
平成31年度 ダム修繕 第2号ー6
- (2) 調達業務の名称
平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務
- (3) 調達業務の内容
広川ダムについての放流・警報設備等の保守点検業務を実施する。
仕様書のとおり
- (4) 契約期間
契約締結日から令和2年3月18日まで

2 条件付き一般競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

次に掲げるすべての要件を満たしていること。

- (1) 自治法令第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
- (2) 和歌山県役務の提供等の契約に係る入札参加資格に関する要綱(平成20年和歌山県告示第1261号。以下「要綱」という。)に基づき競争入札参加資格者名簿に登録されている者(入札参加資格の停止の期間中である者を除く。)であり、その競争入札参加資格者名簿の業務種目が「大分類『07 特殊設備保守管理(建築物に係るものを除く。)』の小分類『06 道路・河川・港湾設備保守管理』」であること。
また、その業務種目について、和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札の取扱基準(平成31年1月1日以降実施分)(平成23年制定)の別表「業務種目ごとの登録要件、人材要件及び実績要件」に定める条件を満たした者であること。
その他業務種目に係る入札参加資格の取扱いについては、入札説明書のとおり
- (3) 和歌山県内に本店を有する者であること。
- (4) 和歌山県役務の提供等の契約に係る入札参加資格停止要領(平成20年制定)に規定する入札参加の停止の措置を受けている者でないこと。
- (5) 和歌山県が行う調達契約等からの暴力団排除に関する事務取扱要領(平成20年制定)に規定する排除措置を受けている者でないこと。
- (6) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき、更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき、再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

3 契約条項を示す場所及び期間

- (1) 場所
有田振興局建設部総務調整課
有田郡湯浅町湯浅2355ー1
- (2) 期間

平成31年4月18日(木)から令和元年5月7日(火)までの和歌山県の休日を定める条例(平成元年和歌山県条例第39号)第1条第1項に規定する県の休日(以下「県の休日」という。)を除く日の午前9時00分から午後5時30分まで

4 仕様書及び入札説明書を交付する場所及び期間

- (1) 場所
3の(1)のとおり
- (2) 期間
3の(2)のとおり

(3) 質問の期間

仕様書及び入札説明書について質問がある者は、平成31年4月19日(金)から平成31年4月23日(火)までの間において、有田振興局建設部広川出張所に対して、所定の書面(ファクシミリを含む。)により行うこと。

その他質問の方法等については、入札説明書のとおり

5 入札参加資格の審査に関する事項

この条件付き一般競争入札に参加した者(落札候補者になった者に限る。)は、要領第7条から第9条までの規定に基づき、入札の事後において、所定の入札参加資格確認申請書類を提出し、入札参加資格要件の適格認定を受けなければならない。

その手続等については、入札説明書のとおり

(1) 入札参加資格確認申請書類を提出する場所及び期間

ア 場所

有田振興局建設部総務調整課

有田郡湯浅町湯浅2355-1

イ 期間

令和元年5月8日(水)の入札の日以後、原則として、落札候補者となった日から起算して2日(県の休日を除く。)以内の日の午前9時00分から午後5時30分まで

(2) 入札参加資格確認申請書類等についての質問

4の(3)のとおり(仕様書及び入札説明書についての質問として取り扱うものとする。)

6 入札の場所及び日時

(1) 入札の場所及び日時

ア 場所

有田振興局 1階 第1会議室

有田郡湯浅町湯浅2355-1

イ 日時

令和元年5月8日(水) 午後1時30分から

(2) 開札の場所及び日時

ア 場所

(1)のAに同じ

イ 日時

(1)のイに同じ

7 入札の方法に関する事項

(1) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。以下「入札希望金額」という。)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記入すること。

(2) 入札は、所定の入札書に入札する事項を記入して行うこと。

(3) 入札の際には、和歌山県役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格決定通知書を提示し、又はその写しを提出すること。

(4) 郵送による入札は認めない。

(5) その他入札方法の細目については、入札説明書のとおり

8 入札保証金に関する事項

入札保証金は、和歌山県財務規則第87条第4号の規定により免除する。

9 入札の無効に関する事項

本公告に示した競争入札参加資格のない者がした入札及び入札説明書に記載する無効な入札に該当する入札は、無効とする。また、本県から入札参加資格要件不適格認定の通知を受けた者等入札時点で2に掲げる要件を満たしていなかった者のした入札は、無効とする。

10 落札者の決定に関する事項

- (1) 入札の要件、執行方法等の細目については、入札説明書に記載するとおりとする。
天災地変その他やむを得ない事由が生じたときは、入札を延期し、又は取りやめることがある。
入札者が談合し、又は不穏な挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行できない状況にあると認めたときは、入札を延期し、又はこれを廃止することがある。
- (2) この入札の開札において、入札者が立ち会わない場合には、当該入札事務に関係のない有田振興局建設部総務調整課の職員を立ち会わせるものとする。
- (3) 和歌山県財務規則第102条の規定により定めた予定価格の制限の範囲内で、最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札候補者とする。
- (4) 落札候補者となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせて順位を決定するものとする。この場合において、当該入札者のうち開札に立ち会わない者又はくじを引かない者があるときは、この者に代わって当該入札事務に関係のない有田振興局建設部総務調整課の職員にくじを引かせるものとする。
- (5) 開札の結果、予定価格の制限の範囲内の価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。この場合において、入札の回数は、最初の入札を含めて最高3回までとする。
- (6) 落札候補者は、5の入札参加資格の審査により入札参加資格要件の適格認定を受けたときに落札者となる。
- (7) 落札者の決定後、契約の締結の日までの間において、落札者が2に掲げるいずれかの要件を満たさなくなった場合には、契約を締結しないものとする。この場合において、本県は、その契約の不締結について、落札者に対して損害賠償責任その他何らの責任を負わないものとする。

11 契約保証金に関する事項

- (1) 契約を締結する者は、契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を納付しなければならない。
- (2) 契約保証金の納付の方法、納付の免除、還付等については、自治法令第167条の16及び和歌山県財務規則第92条から第94条までの規定の定めるところによる。

12 契約書の要否
要

13 契約の締結に関する和歌山県議会の議決の要否
否

14 その他

- (1) 契約締結後、消費税及び地方消費税の改正税率の適用となる契約については、後日、契約書の変更を行うこととなるので留意すること。
- (2) 入札及び契約の事務を担当する部局
この条件付き一般競争入札及びそれに基づく契約に関する事務を担当する部局の名称
(ア) 名称
有田振興局建設部総務調整課
(イ) 所在地
有田郡湯浅町湯浅2355-1
郵便番号 643-0004
電話番号 0737-64-1267(直通)
ファクシミリ番号 0737-64-1268

平成31年4月18日作成
有田振興局建設部総務調整課

入 札 説 明 書

「平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務」

平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務については、別途の入札公告のとおり、「入札参加資格の事後審査による条件付き一般競争入札」により和歌山県が調達する。

当該「入札参加資格の事後審査による条件付き一般競争入札」については、地方自治法(昭和22年法律第67号)、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「自治法令」という。)、和歌山県財務規則(昭和63年和歌山県規則第28号)、和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札(事後審査)実施要領(平成20年制定。以下「要領」という。))その他の関係法令規則等に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

入札に参加する者は、下記に掲げる事項を熟知の上、入札しなければならない。

なお、入札後、仕様等について不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。

記

- 1 入札公告年月日
平成31年4月18日
- 2 条件付き一般競争入札に付する事項
 - (1) 事業年度及び業務番号
平成31年度 ダム修繕 第2号－6
 - (2) 調達業務の名称
平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務
 - (3) 調達業務の内容
広川ダムについての放流・警報設備等の保守点検業務を実施する。
仕様書のとおり
 - (4) 契約期間
契約締結日から令和2年3月18日まで
- 3 条件付き一般競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項
次に掲げるすべての要件を満たしていること。
 - (1) 自治法令第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
 - (2) 和歌山県役務の提供等の契約に係る入札参加資格に関する要綱(平成20年和歌山県告示第1261号。以下「要綱」という。)に基づき競争入札参加資格者名簿に登録されている者(入札参加資格の停止の期間中である者を除く。)であり、その競争入札参加資格者名簿の業務種目が「大分類『07 特殊設備保守管理(建築物に係るものを除く。)]の小分類『06 道路・河川・港湾設備保守管理』」であること。
また、その業務種目について、和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札の取扱基準(平成31年1月1日以降実施分)(平成23年制定。以下「基準」という。)の別表「業務種目ごとの登録要件、人材要件及び実績要件」に定める条件を満たした者であること。
 - ア 登録要件
上述のとおり
 - イ 人材要件
同種の道路・河川・港湾設備についての1年以上の点検・保守管理、導入・設置又はメンテナンス修理の実務経験を有する専門技術者1名以上(専門技術者:同種の道路・河川・港湾設備の構造を熟知し、専門的な知見や詳細な点検に必要な専門的な技能を有する者)
 - ウ 実績要件
直近5ヶ年(浮桟橋については、直近10ヶ年)において、同種同規模の契約実績があること(民間実績含む。)
＜基準の別表「業務種目ごとの登録要件、人材要件及び実績要件」の表頭「各業務の共通の条件」の第3項の説明参照のこと。＞
その他業務種目に係る入札参加資格の取扱いについては、要綱及び基準のとおり

- (3) 和歌山県内に本店を有する者であること。
- (4) 和歌山県役務の提供等の契約に係る入札参加資格停止要領(平成20年制定)に規定する入札参加の停止の措置を受けている者でないこと。
- (5) 和歌山県が行う調達契約等からの暴力団排除に関する事務取扱要領(平成20年制定)に規定する排除措置を受けている者でないこと。
- (6) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき、更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき、再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

4 契約条項を示す場所及び期間

- (1) 場所
有田振興局建設部総務調整課
有田郡湯浅町湯浅2355-1
- (2) 期間
平成31年4月18日(木)から令和元年5月7日(火)までの和歌山県の休日を定める条例(平成元年和歌山県条例第39号)第1条第1項に規定する県の休日(以下「県の休日」という。)を除く日の午前9時00分から午後5時30分まで

5 仕様書及び入札説明書を交付する場所及び期間

- (1) 場所
4の(1)のとおり
- (2) 期間
4の(2)のとおり
- (3) 質問の期間
仕様書及び入札説明書について質問がある者は、平成31年4月19日(金)から平成31年4月23日(火)までの間において、有田振興局建設部広川出張所に対して、所定の書面(ファクシミリを含む。)により行うこと。
ア 所定の書面の様式は、仕様書等に対する質問申出書(様式1:要領別記第1号様式)とする。
イ 質問に対しては、原則として平成31年4月26日(金)までに書面(ファクシミリを含む。)により回答し、その内容については、和歌山県ホームページへの掲載の方法及び有田振興局建設部広川出張所での備付けの方法により公表するものとする。
ただし、その内容が軽微なものにあつては、有田振興局建設部広川出張所の担当者の口頭による回答のみとすることができる。
ウ 質問受付場所
(ア)名称
有田振興局建設部広川出張所
(イ)所在地
有田郡広川町下津木1619-6
郵便番号 643-0051
電話番号 0737-67-2104(直通)
ファクシミリ番号 0737-67-2754

6 入札参加資格の審査に関する事項

この条件付き一般競争入札に参加した者(落札候補者になった者に限る。)は、要領第7条から第9条までの規定に基づき、入札の事後において、所定の入札参加資格確認申請書類を提出し、入札参加資格要件の適格認定を受けなければならない。

その手続等については、別添「条件付き一般競争入札参加資格確認申請書類作成要項(事後審査)」のとおり

(1) 入札参加資格確認申請書類を提出する場所及び期間

- ア 場所
有田振興局建設部総務調整課
有田郡湯浅町湯浅2355-1
- イ 期間
令和元年5月8日(水)の入札の日以後、原則として、落札候補者となった日から起算して2日(県の休日を除く。)以内の日の午前9時00分から午後5時30分まで

- (2) 入札参加資格確認申請書類等についての質問
5の(3)のとおり(仕様書及び入札説明書についての質問として取り扱うものとする。)

7 入札の場所及び日時

(1) 入札の場所及び日時

ア 場所

有田振興局 1階 第1会議室
有田郡湯浅町湯浅2355-1

イ 日時

令和元年5月8日(水) 午後1時30分から

(2) 開札の場所及び日時

ア 場所

(1)のイと同じ

イ 日時

(1)のイと同じ

8 入札の方法に関する事項

- (1) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。以下「契約希望金額」という。)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記入すること。

なお、入札者は、調達業務に係る一切の諸経費を含めた契約希望金額を見積もるものとする。

- (2) 入札は、所定の入札書に入札する事項を記入して行うこと。

ア 所定の入札書の様式は、入札書(様式2)とする。

イ 入札書には、調達業務を完了するための価格の総額を記入すること。

ウ 入札書には、調達業務の名称その他の必要事項を明記した上、入札者の氏名(商号(屋号)を含む。法人にあつては、その名称及び代表者の氏名。以下同じ。)を記入して押印(外国人の署名を含む。以下同じ。)をしておかなければならない。代理人が入札する場合にあつては、入札者の氏名及びその代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名を記入して押印をしておかなければならない。

エ 入札者又はその代理人は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。ただし、入札書の入札金額は、訂正することができない。

オ 入札書を提出した後は、入札書の書換え、引替え又は撤回をすることができない。

- (3) 入札の際には、和歌山県役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格決定通知書を提示し、又はその写しを提出すること。

- (4) 郵送による入札は認めない。

- (5) 入札及びその執行については、次に掲げる事項に則り行うものとする。

ア 入札事務(開札事務を含む。)は、有田振興局建設部総務調整課の複数の職員(うち上席の1人を入札執行者とする。)により執行する。

イ 入札執行者は、入札の時間を厳守させるものとする。

ウ 入札の場所に入室する者は、原則として1入札者(業者)1人とし、入札執行者は、入札の執行に先立ち和歌山県役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格決定通知書の提示又はその写しの提出を受け、その出席を確認するものとする。この場合において、入札者の代理人は、当該入札についての委任状(様式3)を提出しなければならない。

エ 入札書の開札は、すべての入札者の入札の完了(入札書提出の終了)を確認した後直ちに、入札事務を執行する職員が行い、開札の結果については、入札執行者がその場で立ち会っている入札者又はその代理人に告げるものとする。

オ 入札執行者は、入札結果について入札執行調書を作成して整理するものとする。

当該入札執行調書には、6による入札後の入札参加資格の審査結果についても追記するものとする。

カ 入札執行者は、天災地変その他やむを得ない事由が生じたときは、入札を延期(中断を含む。)し、又は取りやめることができる。入札者が談合し、又は不穏な挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行できない状況にあると認めたときも、同様とする。

キ その他入札の執行については、要領及びこの入札説明書に基づき、入札執行者が決定する。

9 入札保証金に関する事項

入札保証金は、和歌山県財務規則第87条第4号の規定により免除する。

10 入札の無効に関する事項

入札公告に示した競争入札参加資格のない者がした入札及びこの入札説明書に記載する無効な入札に該当する入札は、無効とする。また、本県から入札参加資格要件不適格認定の通知を受けた者等入札時点で3に掲げる要件を満たしていなかった者のした入札は、無効とする。

次の各号のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- (1) 入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札
- (2) 委任状を持参しない代理人のした入札
- (3) 所定の時刻までにされなかった入札
- (4) 同一事項の入札について、入札者又は代理人が2以上の入札をした場合のそのいずれもの入札
- (5) 同一事項の入札について、代理人が2人以上の者の代理をした場合のそのいずれもの入札
- (6) 同一事項の入札について、入札者が他の入札者の代理をした場合のそのいずれもの入札
- (7) 明らかに談合その他の不正な行為によってされたと認められる入札
- (8) 記名押印を欠いた入札書による入札
- (9) 入札金額を訂正した入札書による入札
- (10) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭な入札書による入札
- (11) その他入札に関する条件に違反した入札

11 落札者の決定に関する事項

- (1) 入札の要件、執行方法等の細目については、要領及びこの入札説明書のとおりとする。
天災地変その他やむを得ない事由が生じたときは、入札を延期し、又は取りやめることがある。
入札者が談合し、又は不穏な挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行できない状況にあると認めたときは、入札を延期し、又はこれを廃止することがある。
- (2) この入札の開札において、入札者又はその代理人が立ち会わない場合には、当該入札事務に関係のない有田振興局建設部総務調整課の職員を立ち会わせるものとする。
- (3) 和歌山県財務規則第102条の規定により定めた予定価格の制限の範囲内で、最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札候補者とする。
- (4) 落札候補者となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせて順位を決定するものとする。この場合において、当該入札者のうち開札に立ち会わない者又はくじを引かない者があるときは、この者に代わって当該入札事務に関係のない有田振興局建設部総務調整課の職員にくじを引かせるものとする。
- (5) 開札の結果、予定価格の制限の範囲内の価格の入札が無いときは、直ちに再度の入札を行う。この場合において、入札の回数は、最初の入札を含めて最高3回までとする。
- (6) 落札候補者は、6の入札参加資格の審査により入札参加資格要件の適格認定を受けたときに落札者となる。
- (7) 落札者の決定後、契約の締結の日までの間において、落札者が3に掲げるいずれかの要件を満たさなくなった場合には、契約を締結しないものとする。この場合において、本県は、その契約の不締結について、落札者に対して損害賠償責任その他の何らの責任を負わないものとする。

12 契約保証金に関する事項

- (1) 契約を締結する者は、契約保証金を納付しなければならない。
 - ア 契約保証金の額は、契約金額の100分の10以上の額に相当するものでなければならない。
 - イ 契約保証金の納付は、次に掲げる担保の提供をもって代えることができる。
 - (ア) 和歌山県財務規則第86条各号に規定する担保
 - (イ) 保険事業会社の保証
 - ウ 契約保証金は、次に掲げる場合においては、その全部又は一部の納付を免除することができる。
 - (ア) 契約の相手方(落札者)が保険会社との間に和歌山県を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。
： 契約の相手方(落札者)は、当該履行保証保険契約に係る保険証券を提出すること。

(イ) 契約の相手方(落札者)が過去2箇年の間に国(公団等を含む。)又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を数回以上にわたって締結し、これらを全て誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。

： 契約の相手方(落札者)は、契約保証金納付免除申請書(様式4)により、それを証する書類(種類及び規模をほぼ同じくする契約についての書類の写し等)を提出すること。

(2) 契約保証金の納付の方法、納付の免除、還付等については、自治法令第167条の16及び和歌山県財務規則第92条から第94条までの規定の定めるところによる。

13 契約書の要否
要

14 契約の締結に関する和歌山県議会の議決の要否
否

15 その他

(1) 契約締結後、消費税及び地方消費税の改正税率の適用となる契約については、後日、契約書の変更を行うこととなるので留意すること。

(2) 入札及び契約の事務を担当する部局

この条件付き一般競争入札及びそれに基づく契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在
(ア)名称

有田振興局建設部総務調整課

(イ)所在地

有田郡湯浅町湯浅2355-1

郵便番号 643-0004

電話番号 0737-64-1267(直通)

ファクシミリ番号 0737-64-1268

平成 年 月 日

事業年度	平成31年度	公告年月日	平成31年4月18日
業務の名称	広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務		
質問者	住 所 〔法人にあつては、主たる事務所の所在地〕		
	氏 名 〔商号(屋号)を含む。法人にあつては、その名称及び代表〕		
	担当者の所属及び職氏名		
	電話番号		
	FAX番号		
質問事項	1 仕様書について 2 入札説明書について		

様式2(第8項関係)

入札書

入札金額

千	百	十	万	千	百	十	円

ただし、平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務に係る入札金
上記のとおり入札します。

令和元年5月8日

住所

〔 法人にあっては、主
たる事務所の所在地 〕

氏名

〔 商号(屋号)を含む。
法人にあっては、そ
の名称及び代表者 〕

印

(代理人の場合)

氏名

印

和歌山県知事 様

- 注) 1 入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わ
ず、見積もった契約金額の108分の100に相当する金額を入札書に記入すること。
2 記入する金額の数字はアラビア数字で表示し、数字の先頭には「金」を記入すること。
3 金額を訂正したものは、無効とすること。
4 金額箇所以外の訂正又は抹消箇所には押印すること。

委 任 状

和歌山県知事 様

私は、_____ 印 を代理人と定め、下記事項を処理する一切の権限を委任します。

記

平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務の入札について

令和元年5月8日

委任者

住所

〔 法人にあつては、主たる事務所の所在地 〕

氏名

〔 商号(屋号)を含む。
法人にあつては、その名称及び代表者 〕

印

別添(第6項関係)

条件付き一般競争入札参加資格確認申請書類作成要項(事後審査)

「平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務」

平成31年度 ダム修繕 第2号-6 広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務の「入札参加資格の事後審査による条件付き一般競争入札」に参加した者(落札候補者となった者に限る。)は、入札公告、入札説明書及び仕様書の内容について熟知の上、当該条件付き一般競争入札についての入札参加資格要件が満たされているか入札の事後に審査を受け、所要の適格認定を得て落札候補者から落札者とならなければならない。

当該入札参加資格確認の手続等については、和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札(事後審査)実施要領(平成20年制定。以下「要領」という。)第7条から第9条までの規定及び入札説明書本文に定めるもののほか、この別添の要項によるものとする。

当該入札に参加した者(落札候補者となった者に限る。)は、下記に掲げる事項に留意の上、所要の条件付き一般競争入札参加資格確認申請書及びその添付書類(以下「入札参加資格確認申請書類」という。)を作成(調製)し、所定の期限までに、有田振興局建設部総務調整課へ提出しなければならない。

記

1 入札参加資格確認申請書類を提出する場所及び期間

＊ 提出する入札参加資格確認申請書類については、持参し、及びその提出書類について説明することが必要であることに留意すること。

(1) 受付場所

有田振興局建設部総務調整課
有田郡湯浅町湯浅2355-1

(2) 受付期間

令和元年5月8日(水)の入札の日以後、原則として、落札候補者となった日から起算して2日(県の休日を除く。)以内の日の午前9時00分から午後5時30分まで

2 入札参加資格確認申請書類の様式、種類、提出部数等

(1) 入札参加資格確認申請書類は、次に掲げるものとする。

ア 条件付き一般競争入札参加資格確認申請書(事後審査用)(様式5:要領の別記第2号様式)

イ 和歌山県役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格決定通知書の写し

ウ 和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札の取扱基準(平成31年1月1日以降実施分)(平成23年制定。以下「基準」という。)の別表「業務種目ごとの登録要件、人材要件及び実績要件」に定める条件を満たした者であることを証する書類

(ア) 人材要件に関するもの

a 「同種の道路・河川・港湾設備についての1年以上の点検・保守管理、導入・設置又はメンテナンス修理の実務経験を有する専門技術者1名以上(専門技術者:同種の道路・河川・港湾設備の構造を熟知し、専門的な知見や詳細な点検に必要な専門的な技能を有する者)」に関するもの<当該技士が入札者本人又はその職員(役員を含む。)であり、常勤の者であること。> : ①及び②の書類

① 当該専門技術者に係る業務経験証明書

② 当該専門技術者に係る常勤が確認できる書類の写し{3の(2)参照}

(イ) 実績要件に関するもの

「直近5ヶ年(浮桟橋については、直近10ヶ年)において、同種同規模の契約実績があること(民間実績含む。)」に関するもの<当該入札公告日「平成31年4月18日」から過去5年間に国又は地方公共団体(以下、「国等」という。)>と契約した同種同規模の業務を適正に履行(完了)したこと。>：①又は②の書類

＊ 「同種同規模の契約実績」とは、「業務種目：大分類『07 特殊設備保守管理(建築物に係るものを除く。)>』の小分類『06 道路・河川・港湾設備保守管理>』の『業務レベル：全ての業務>』において相当(当該発注業務と同類の業務内容)する業務で、その契約実績がこの入札公告で発注する業務の契約金額に相当(当該発注業務の予定価格の概ね50%以上の契約金額)するものの契約実績である。

① 当該同種同規模の業務に係る国等との契約実績を証する書類(同種同規模の業務であることが判るもので、それが正当に履行(完了)されたことが判るもの)：契約書、仕様書等の所要部分の写し、完了検査通知書の写し等

② 当該同種同規模の業務に係る民間等との契約実績を証する書類(同種同規模の業務であることが判るもので、それが正当に履行(完了)されたことが判るもの)：契約書、仕様書等の所要部分の写し、完了検査通知書・履行(完了)証明書等の写し等

(2) 入札参加資格確認申請書類の提出部数は、正本1部とする。

3 入札参加資格確認申請書類の作成(調製)における留意事項

(1) 全般事項

ア 申請書類に虚偽の記載等をした場合は、当該申請を無効とし、資格確認を取り消すことがある。

イ 申請書の記入等に当たっては、次のことに注意するものとする。

(ア) 申請者の氏名は、個人事業者にあつてはその代表者の氏名及び商号(屋号)とし、法人事業者にあつてはその名称及び代表者の職氏名とすること。

(イ) 申請者の住所は、その主たる事務所の所在地とすること。

(ウ) 申請書の記入等に使用する印は、競争入札参加資格者名簿への登載において役務の提供等の契約、入札等に使用すると届け出ている印鑑とすること。

(エ) 申請書の記入等に当たり使用する言語は日本語とし、通貨は日本円とし、単位は日本の標準時及び計量法(平成4年法律第51号)によること。

(オ) 数字は、すべて算用数字とすること。

(カ) 申請書の記入等には、黒(青)の万年筆又はボールペンを使用し、楷書で鮮明に記入すること。また、ゴム印、ワープロ等を使用した作成も可とすること。

(キ) 字句等を訂正する場合は、二本線で抹消し訂正印を押印の上、その上段に訂正後の字句等記入すること。

ウ 提出に際して、必要となる添付書類等のうち一つでも不足があれば受付できないので、十分確認の上、提出するものとする。

再提出は、受付期間内に、迅速に行うものとする。

エ 受付期間後の申請書類の差し替え及び再提出は認めない。

オ 申請書類の作成及び申請(提出を含む。)に関する費用は、申請者(落札候補者)の負担とする。

カ 申請書類は、返却しない。

(2) 個別事項

ア 人材要件に関する添付書類の「常勤が確認できる書類の写し」は、原則として、当該常勤者についての次に掲げる書面のいずれかの写しとする。

a 住民税特別徴収税額の通知書(特別徴収義務者用)

b 健康保険被保険証又は健康保険厚生年金保険被保険者標準報酬決定通知書
直近に加入した者については、健康保険厚生年金保険被保険者取得届

c 社会保険に加入していない者については、雇用保険被保険資格取得等確認通知書(事業主通知用)

d 雇用保険に加入できない者その他a～cの書面が整えられない者については、当該申請書類提出日の月の前3か月間の源泉徴収簿又は賃金台帳等

4 審査結果の通知

申請者(落札候補者)には、「条件付き一般競争入札参加資格要件適格認定通知書」又は「条件付き一般競争入札参加資格要件不適格認定通知書」により通知するものとする。

なお、「条件付き一般競争入札参加資格要件適格認定通知書」は、その後の契約において必要となるので、申請者(落札候補者から落札者となった者)において大切に保管するものとする。

5 不適格認定の理由の説明

(1) 「条件付き一般競争入札参加資格要件不適格認定通知書」により必要な入札参加資格の要件が欠けていると認められた者は、その通知を受けた日の翌日から起算して10日(県の休日を除く。)以内に、書面(ファクシミリを除く。)により、その不適格認定の理由について説明を求めることができる。

ア 書面の提出場所

1の(1)に同じ

イ 書面の提出方法

持参又は書留郵便により提出すること。

(2) (1)に対する回答は、説明を求めた者に対し、当該書面の提出を受けた日の翌日から起算して3日(県の休日を除く。)以内に書面で行うものとする。

6 申請書類等についての質問の受付

この要項、入札参加資格確認申請書類等についての質問は、仕様書及び入札説明書についての質問として、入札説明書本文の5の(3)により行うものとする。

条件付き一般競争入札参加資格確認申請書(事後審査用)

和歌山県知事 様

平成 年 月 日

住所

〔 法人にあっては、主
たる事務所の所在地 〕

氏名

〔 商号(屋号)を含む。
法人にあっては、そ
の名称及び代表者 〕

印

担当者職氏名:
電 話 番 号:
F A X 番 号:

平成31年4月18日付けで入札公告のあった下記の条件付き一般競争入札に参加し、落札候補者となったので、和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札(事後審査)実施要領(平成20年制定)第7条の規定により、関係書類を添えて、必要な入札参加資格の要件についての審査を申請します。

また、その他の入札公告された当該条件付き一般競争入札に参加する者に必要なすべての要件については満たしていること及び当該申請書及び添付書類のすべての記載事項について事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 条件付き一般競争入札に付された事項
 - (1) 事業年度及び業務番号
平成31年度 ダム修繕 第2号-6
 - (2) 調達業務の名称
平成31年度広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務
- 2 入札の場所及び日時
 - (1) 場所
有田振興局 1階 第1会議室
有田郡湯浅町湯浅2355-1
 - (2) 日時
令和元年5月8日(水) 午後1時30分から
- 3 添付書類
 - (1) 競争入札参加資格決定通知書の写し
 - (2) 人材要件に係るもの
 - ・ 所属技術者等に係る業務経験証明書
 - ・ 所属技術者等に係る常勤が確認できる書類の写し
 - (3) 実績要件に係るもの
 - ・ 同種同規模の業務に係る国等との契約実績を証明する書類

(注) 添付書類については、入札説明書に記載された申請書類作成要項を確認の上、提出する書類名称を具体的に記入してください。

契約実績同等(同種同規模)認定申請書

平成 年 月 日

和歌山県知事 様
申請者 住所

〔 法人にあっては、主たる事務所の所在地 〕

氏名
〔 商号(屋号)を含む。法人にあっては、その名称及び代表者 〕

印

担当者職氏名:
電 話 番 号:
F A X 番 号:

下記の条件付き一般競争入札について、入札公告及び和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札の取扱基準(平成31年1月1日以降実施分)(平成23年制定)の別表において実績要件として定められた契約実績を有する者と同等(同種同規模)の契約実績を有する者であるとの認定を受けたいので申請します。

記

1 入札公告事項

入札に付されている事項	入札公告年月日	平成31年4月18日				
	事業年度	平成31年度				
	調達業務の名称	広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務				
	入札の場所及び日時	有田振興局 1階 第1会議室 有田郡湯浅町湯浅2355-1 令和元年5月8日(水) 午後1時30分から				

2 同等(同種同規模)の認定を申請する業務種目名等

- (1) 業務種目名
07 特殊設備保守管理(建築物に係るものを除く。)
06 道路・河川・港湾設備保守管理
- (2) 業務レベル
全ての業務

3 民間等契約実績

入札参加条件の実績要件と定められた同種同規模の契約実績に相当する民間等契約実績は、次のとおりです。

業務発注者(契約の相手方)の名称	
業務の名称	
契約期間	
業務実施期間	
履行場所	
業務の概要	

4 添付書類

上記の民間等契約実績について説明する書類は、次のとおりです。

- (1) 当該業務に係る契約書の写し又は業務発注者(契約の相手方)が発行する履行証明書
(2) 当該業務の内容が分かる仕様書の写し等の資料

備考

- 1 民間等契約実績については、当該入札公告開始日から過去5年間に適正に履行(完了)したものについて、1件以上記入すること。ただし、「道路・河川・港湾設備保守管理」の「浮栈橋について」は、過去10年間に適正に履行(完了)したものについても記入できるものとする。
- 2 履行証明書は、所定の様式(別紙様式)を使用すること。

(参考様式)

所属技術者等に係る業務経験証明書

平成 年 月 日

証明者

住所

〔 法人にあつては、主
たる事務所の所在地 〕

氏名

〔 商号(屋号)を含む。
法人にあつては、そ
の名称及び代表者
氏名 〕

印

下記の条件付き一般競争入札の入札参加資格の確認について、下記の者が
業務の実務に従事した経験を有することを証明します。

1 入札事項名

(1) 入札公告年月日

平成31年4月18日

(2) 入札に付する事項

ア 事業年度

平成31年度

イ 調達業務の名称

広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務

2 所属技術者等の業務経験

職氏名・生年月日	(年 月 日生)
雇用期間	年 月から現在まで(年 か月) (現在の所属部署の名称:)
証明する業務の名称(区分)	
証明する業務経験年数	年 月から 年 月まで(年 か月)
証明する業務経験の具体的な 内容	

(注) 1 「証明する業務の名称(区分)」は、入札公告及び入札説明書に示された人材要件として必要業務の名称を記入してください。

2 「証明する業務経験年数」は、入札公告及び入札説明書に示された人材要件として必要な業務の経験年数以上のものを記入してください。

3 「証明する業務経験の具体的な内容」は、入札公告及び入札説明書に示された人材要件として必要な業務の実務に従事した内容について、職名、所属部署の名称、実務従事の場所等とともに具体的に記入してください。

(参考様式)

履 行 証 明 書

(和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札参加のための契約履行証明書)

和歌山県知事 様

申請者

住所

〔 法人にあつては、主
たる事務所の所在地 〕

氏名

〔 商号(屋号)を含む。
法人にあつては、そ
の名称及び代表者 〕

印

この証明書の全ての記載事項は、事実と相違ありません。

1 履行した業務名

2 履行期間(業務実施期間)

年 月 日から 年 月 日まで

3 契約金額

_____ 円

4 履行内容(業務の内容:業務の実施方法、業務対象の㎡数等業務内容について、具体的に記載してください。)

--

上記記載のとおり申請者が履行(完了)したことを証明します。

年 月 日

証明者(業務発注者)

住所

氏名

印

(参考様式)

履行証明書(記載例)

(和歌山県役務の提供等の契約に係る条件付き一般競争入札参加のための契約履行証明書)

和歌山県知事 様

申請者

住所

〔 法人にあっては、主たる事務所の所在地 〕

和歌山市●●●●番地

氏名

〔 商号(屋号)を含む。
法人にあっては、その名称及び代表者 〕

株式会社●●和歌山支店

和歌山支店長

●●●●

印

この証明書の全ての記載事項は、事実と相違ありません。

1 履行した業務名

株式会社●●の●●●●●●業務

2 履行期間(業務実施期間)

平成●●年●●月●●日から平成●●年●●月●●日まで

3 契約金額

¥●, ●●●, ●●●円

4 履行内容(業務の内容:業務の実施方法、業務対象の㎡数等業務内容について、具体的に記載してください。)

株式会社●●の本社屋舎についての清掃業務

床面積:5,000㎡

建物内外のゴミ収集(毎日)

建物内のワックス掛け(2か月に1回)

上記記載のとおり申請者が履行(完了)したことを証明します。

平成●●年●●月●●日

証明者(業務発注者)

住所

和歌山市●●●●

氏名

株式会社●●●●

代表取締役

印

契約保証金納付免除申請書

平成 年 月 日

和歌山県知事 様

住所

〔 法人にあつては、主たる事務所の所在地 〕

氏名

〔 商号(屋号)を含む。法人にあつては、その名称及び代表者氏名 〕

印

和歌山県財務規則(昭和63年和歌山県規則第28号)第93条第3号の規定により下記1の契約に係る契約保証金の納付の免除を受けたいので、関係資料を添えて申請します。
なお、下記2に記載の契約については、契約期間内に履行し、所要の完了検査に合格したことに相違ないことを誓約します。

1 契約事項

事業年度	平成31年度
業務の名称	広川ダム修繕(放流・警報設備等)保守点検業務

2 国(公団等を含む。)又は地方公共団体との契約実績

発注者	契約の業務名等	契約日	完了日	契約金額

- ※ 過去2年間で、1の契約事項と同種・同規模の実績を2件以上記載してください。
- ※ 上記を証明する資料として、次の書面を必ず添付してください。
- (1) 2に記載した契約に係る契約書の写し(業務の名称、契約期間、契約金額等が分かるもの)
- (2) 2に記載した契約に係る仕様書等の写し(履行した業務の内容が分かるもの)